

会 議 録

第 1 1 回定例会

開会 令和 5 年 9 月 8 日

教育委員会会議録

- 1 開 会 令和5年9月8日 午前10時
- 2 閉 会 令和5年9月8日 午前10時45分

3 教育委員会出席者

教育長	榊 浩一
委員	島 隆寛
委員	三木 千佳子
委員	河野 暁
委員	横田 賢二

4 教育長及び委員以外の出席者

教 育 次 長	中野 敏章
教 育 次 長	生田 雅和
教 職 員 課 長	西浦 利幸
学 校 教 育 課 長	酒井 吉彦
教 育 政 策 課 長	内海 はやと
教 育 政 策 課 副 課 長	櫻木 大介

[開 会]

教育長 定例会を開会する旨を告げる。

[会議録の承認]

教育長 配付されている会議録を承認して差し支えないかを各委員に諮る。

各委員 異議なし。

教育長 会議録を承認する旨を告げる。

[議 事]

《報告事項1 令和5年3月県内高等学校卒業生の進路状況について》

教育長 報告を求める。

学校教育課長 内容等を報告する。

〈質 疑〉

島委員：点検・評価項目の達成状況と照らし合わせるとどうなのか。また、徳島県内での進学率が上昇しているのは、若者が徳島に残ってくれる確率が上がるので喜ばしいことであるが、一方で、進学費用や奨学金制度等の金銭面で県外を希望できないなどの背景事情があるのか。

学校教育課長：これまではグローバル大学等への進学者数を数値目標としていたが、今後は、生徒、保護者が希望する進路にどれだけ進学できたかということが重要と考えている。近年の徳島県の傾向は、国公立、現役志向で、理系は難関大学より医学部志向がみられる。各学校は生徒、保護者の希望、大学卒業後の進路も含めて、どのような道に進みたいのかを相談した上で、適切な進路を定めて、それに向けて指導をしていく必要があると考えている。県教委として今後も、学力向上、キャリア教育に力を入れていきたい。

中野教育次長：点検・評価項目との関係は、国が高等教育をどのような形で推進していくかということ踏まえて、スーパーグローバル大学を指標にしていたが、進学は、やはり生徒、保護者の希望が大事で、学校の先生方には、大学が大きく変化しているということを情報として得た上で、生徒の指導に当たってほしいと考えている。進路選択は本人の興味・関心・適性、保護者の意向等が中心になるが、経済面も確かに大きな

要因である。奨学金については、民間企業や各種団体から、年間数十件の案内がある。学校の奨学金担当者は、全体把握をして、どのように生徒に案内していくか苦慮している。

島委員：企業側としても、例えば、どこかの高校に申込みがあったときに、全県対象であれば奨学金リストに載る、といった仕組みがあればわかりやすい。

《報告事項 2 令和 6 年度使用教科用図書の採択結果について（小学校用教科用図書）》

教育長 報告を求める。
学校教育課長 内容等を報告する。

〈質 疑〉

特になし

[非公開]

《議案第 2 5 号 徳島県立高等学校総合寄宿舎の設置及び管理に関する条例等の一部を改正する条例について》

《協議事項 1 令和 5 年度 9 月補正予算案について》

《議案第 2 4 号 新型インフルエンザ等対策特別措置法及び内閣法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例について》

[閉 会]

教育長 本日の議事が全て終了したので閉会する旨を告げる。

閉 会 午前 10 時 45 分